



2005年埼玉県下40市『情報公開度ランキング』発表

川越市は37位

自治体 番号	自治体名	05年 順位	02年 順位
1	加須	1	33
2	羽生	1	33
4	坂戸	2	6
3	秩父	2	14
5	行田	5	39
6	春日部	6	4
7	幸手	6	33
8	狭山	6	18
9	深谷	6	9
10	本庄	6	39
11	和光	6	2
12	吉川	12	6
13	新座	13	18
14	八潮	13	18
15	入間	15	17
16	久喜	15	18
17	草加	15	4
18	上福岡	18	9
19	熊谷	18	9
20	鴻巣	18	39
21	鶴が島	18	31
22	所沢	18	29
23	東松山	18	29
24	日高	18	6
25	川口	25	39
26	志木	26	1
27	蓮田	26	9
28	桶川	28	9
29	上尾	29	3
30	越谷	29	18
31	戸田	29	18
32	鳩ヶ谷	29	33
33	蕨	33	14
34	富士見	34	27
35	飯能	35	24
36	朝霞	36	14
★ 37	川越	37	32
38	三郷	38	26
39	さいたま	39	33
40	北本	40	27

なぜ情報公開が必要なのか

まちづくりの主人公である市民が自ら考え行動するためには、まず、市政に関する情報が十分に提供される必要があります。

市が市民と多くの情報を共有すること、つまり市民に情報を公開することが、良いまちづくりを進めるためには欠かせません。

国や県や市は、私たちから集めた税金で私たちにサービスを提供しています。そして、納税者である私たちには、その税金がどのように使われたのかを知る権利があります。その知る権利を生かす道具が「情報公開制度」であり、「情報公開度」が高いほど、その自治体行政の透明度が高く、市民に顔を向けた行政ができていると言えるでしょう。

平成13年までに県内すべての市町村で、情報公開条例が施行されました。（が、問題はその中身です。）その条例でどの程度私たちの知る権利が守られ、市民に顔を向けた行政になっているのかを調べたのがこの情報公開度ランキング調査です。

川越の現状

今回の調査で川越市は100点満点中の43点で37位だったわけですが（1位の加須市は96点、最下位の北本市は30点でした）、その内訳を見ると、市長交際費と議長交際費、市長交際費規定と議長交際費規定の項目で低い点が出ています。交際費については、双方とも「支払う相手方の公表」が不十分とみなされており、交際費規定については、裏面でも触れますが、いつ、誰に、どのくらい、という詳細規定がなく、この辺りが上位の市との点差につながっているようです。

川越は、前回02年の調査では今回と同じ43点でしたが32位でした。今回順位が落ちたということは、3年間の間に他の自治体が情報公開を進める努力をしていたということでしょう。

近年は「個人情報の保護」という理由で情報が開示されないことも多いように聞いています。このような名目で非公開が正当化され、市民の知る権利が妨げられているとしたら、これは問題です。

参考までに・・・

全国オンブズマンネットワーク調べ

・上記のランキングに45町村を加えると85市町村中 川越市67位

* ちなみに隣の川島町は85市町村中59位でした。

・2005年都道府県情報公開度ランキング 埼玉県35位

* ちなみに1位は岩手県、宮城県、3位は鳥取県、長野県でした。

・2004年都道府県情報公開度ランキング 埼玉県12位

* ちなみに1位は鳥取県、2位は三重県、3位は和歌山県でした。

2006年都道府県情報公開度ランキングは3月発表予定